取扱説明書　保管用

屋外用・ＬＥＤガーデンライト
（防雨型・埋設式）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は、法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕　様

品　番	仕　様	使用電圧
AD－2224	LED 3.1W×1灯（白色）	AC100～240V（±6%）

※1回路の最大接続台数は35台(200V時=70台)までです。35台(200V時=70台)を超える場合は別途ご相談下さい。

この取扱説明書のマークについて

⚠警告　説明書中の「警告」は人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は器具破損の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⊘　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

⚠警告

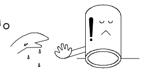
❗ 施工は、取り扱い説明書にしたがい確実に行ってください。
★施工に不備があると事故の原因となります。
光源ＬＥＤを直視すると目を傷めることがあります。
★十分ご注意ください。

⊘ 振動や衝撃の多い場所、腐食ガスの発生する場所、海岸隣接地帯（塩害地域）では使用しないでください。
★いずれの場合も転倒や、腐食・事故の原因となります。

⊘ 次のような場所には取り付けないで下さい。
○地中埋め込み以外の場所　○地盤の弱い場所
★いずれの場所も器具の転倒や落下、破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。
○浴室などの湿気の多い場所への使用　○サウナへの使用
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

⊘ ○設置の際は垂直以外での向きに取り付けないで下さい。
★防水性が損なわれ、漏電や感電事故の原因となります。また器具の転倒や破損、焼損の原因となります。

⊘ 濡れた手で作業しないでください。
★感電事故の原因となります。



⊘ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⊘ ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

⚠注意

❗ **周囲温度５℃～３５℃の範囲でご使用ください。**
★過熱して、発煙や発火、ユニット寿命短縮の原因となります。

⊘ 調光器(ライトコントロール)との併用はできません。
★不良点灯や、照明器具の故障の原因となります。

⊘ 温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近く設置しないで下さい。
★異常加熱による、器具の故障や、破損の原因となります。

⊘ ヒビの入ったカバーや、一部の欠けたカバーは使用しないで下さい。
★カバーの破損、落下の原因となります。

⊘ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないで下さい。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

使用上の注意

⚠注意

照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で８～１０年後には外見に異常が無くても内部劣化が進んでおります。
点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度３０℃、年間３０００時間点灯です。(JIS C8105-1 解説による)

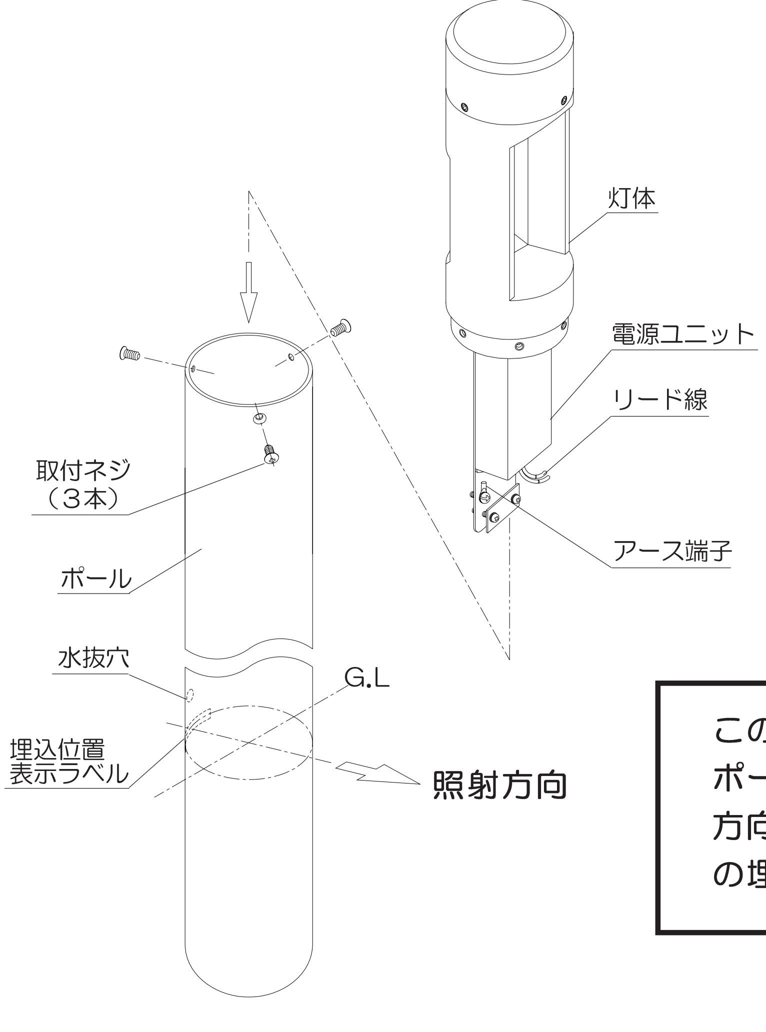
ＬＥＤ光源にはバラつきがある為、同一品名商品でも色・明るさが異なる場合がございます。予め御了承ください。

他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事がございます。予め御了承ください。

各部の名称

（説明図は、 一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または別紙の山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

【器具構成図】



【付属品】

取扱説明書（本書）	…１枚
保証とアフターサービス	…１枚
自己融着テープ	…２枚

この器具は、 照射方向があります。
ポール埋設時に『●取り付け方』の「2.照射方向を決めます。」の項を参照の上、ポールの埋設をしてください。

取り付け場所の確認

⚠警告

一般防雨型器具です。浴場などの湿気の高い場所や塩害地域には設置しないでください。
★絶縁不良による漏電、感電事故の原因また、腐食による器具の破損の原因となります。

土壌のしっかりした所へ取り付けてください。
設置は、必ずコンクリート等でポールの埋め込み部分を補強してください。
★器具の転倒や破損、焼損の原因となります。

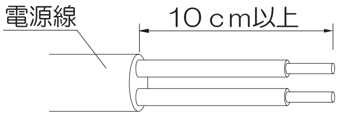
●器具を取り付ける前に、取付ネジ３本を外して、ポールから灯体を取り外してください。

取り付け方　⚠注 意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

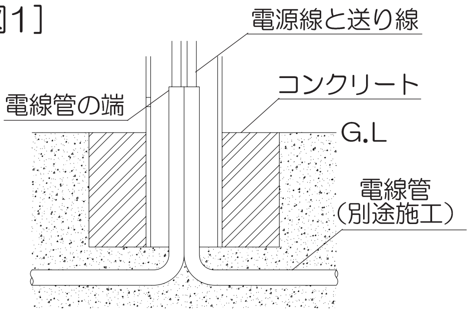
❗ 器具の取り付けは、　説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具落下や点灯不良の原因となります。

1．電源線の施工［図１］

電線管はポールの下から器具内に収まるように配管します。
電線管の端は、G.Lより上になる様に施工します。
電源線の端は、G.Lより１m位出してください。
電源線の外側の被膜を先端部より１０ｃｍ以上むきます。



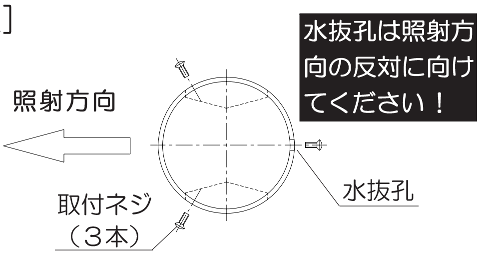
［図1］



2．照射方向を決めます。［図2］

この器具は、照射方向があります。
ポールの水抜孔の反対向きが、照射方向になります。
［図２］を参考に照射方向を確認してください。

［図2］

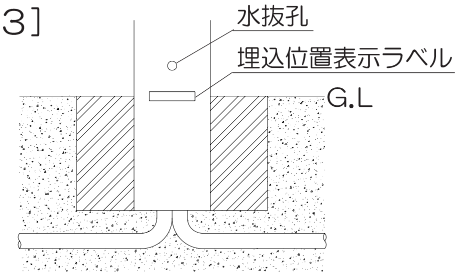


3．ポールに電源線・アース線を通して設置します。［図3］

ポールは埋込位置表示ラベルの位置まで確実に埋め込んでください。
埋込位置表示ラベルの上にある水抜孔は埋め込まないで下さい。

❗ 具体的な施工は、電気設備基準および内線規定に従ってください。

［図３］



4．電源線・アース線を接続します。

①電源線とリード線をスリーブなどで圧着した後、裸線が見えない様に、自己融着テープでしっかりと巻きつけた上、絶縁テープを巻いてください。

＊灯体のコード押さえで電源線を固定してください。
★不良の場合、感電、漏電の原因となります。

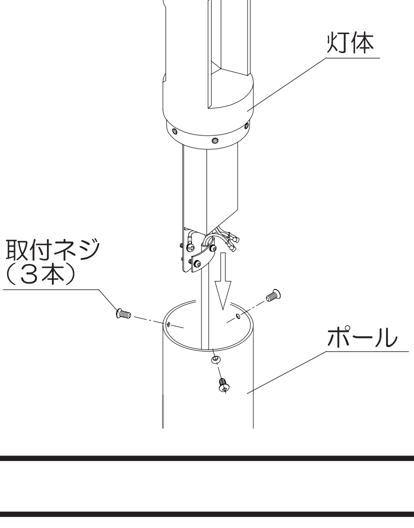
②灯体についているアース端子に接続してください。

＊必ずD種接地工事を施してください。
D種接地工事は、電気設備技術基準に従って確実に行ってください。
★接地（アース）が不完全な場合は、感電事故の原因となります。

5．灯体を取り付けます。［図4］

灯体をポール内に差し込み取付ネジ３本で固定します。
照射方向は、水抜孔を基準に６０°ずつ変えることが出来ます。

［図4］



スイッチ操作

●壁スイッチにてＯＮ－ＯＦＦ操作を行います。

お手入れについて　⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに掃除を　：照明器具が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注意

●お手入れをするときには、必ず電源を切ってから行ってください。
★感電事故の原因となります。

●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

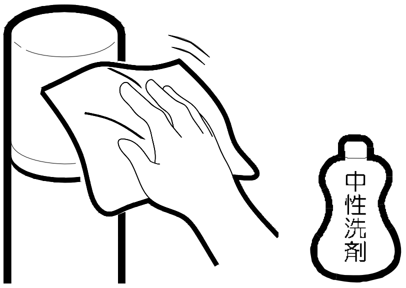
◆お手入れのしかた

1．プラグを抜きます。

2．柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。

3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。

4．最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



■光源ユニットの交換

⚠注意 ❗ この器具は、構造上お客様が光源ユニットを交換することができません。

メンテナンスの際は、別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、**器具の型番**（器具本体のラベルでご確認ください）、**故障の状況、ご使用期間**をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。